

遅くなりましたが、今年度から「校長通信」を始めることにしました。

不定期発行ですが、よろしくお願ひします。

太子町との連携協定締結しました

本日、15:45から本校講義棟で「連携及び協力に関する協定」の調印式を行いました。今回の協定について、私自身は次のように考えています。

まず、今まで太子町内で行ってきた本校の活動が高く評価されたということ。太子あすかふるさとまつり・全校クリーン作戦・小学生への見守り声かけ運動・書道教室・サッカー教室など、枚挙にいとまがないほどの活動が今までに町内で行われてきました。さらに、Jコーラスや吹奏楽部の福祉的活動があり、保育実習やJTC等で生徒がお世話になってきました。「太子町の太子高校」という評価が本物になったことの証だと思うのです。これも、先生方と生徒の皆さんとが、誠心誠意取り組んでくださったおかげです。

次に、太子町が生徒にとって魅力的な場所になるきっかけ作りとして最適だということ。第4学区となり、本年度の新入生のうち姫路市等から通学してきている生徒は約半数近くになります。そうした生徒にも、自分が通う学校がある「太子町」とはどのようなところなのか、どんな魅力や可能性があるのかということが意識化され理解されることは、学校や学びにたいする誇りと責任をはっきりと自覚することにつながっていると考えます。本校で学んだことが土台となって、いずれは「ふるさと太子」で生活し地域を支える人になる。そういう生徒を育てることができれば、この協定の意義がさらに深いものになっていきます。

総合学科として、本校が持つ教育の可能性はとても大きなものです。将来的には、町内企業とのコラボなどから、課題研究の材料を見いだしたりもできそうです。今までの取組みを大切にしつつ、太子町と太子高校とが手を携えて進化し続けることができることを、強く願っています。



県立太子高等学校
校長 松浦りつ子